

日時・場所	令和2年11月24日（火）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、川端政策調整部長、吉川病院事務部長、市木総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、杉本教育部長、遠藤会計管理者、北協広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 開会

<市長挨拶>

この3連休には篠原学区の行政懇談会があった。様々な意見があった中で気になったのは、職員の対応が悪いとの意見である。市役所はサービス業でもあるため、相手の目線に立ち、相手の気持ちを察した丁寧な対応をお願いしたい。窓口や手続きが分かりにくいとの意見もあったため、カウンターでの対応において声掛け等の工夫をお願いする。

2. 議題

① 東海道本線野洲構内甲賀踏切拡幅に係る協定の締結について

甲賀踏切の拡幅工事を西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）に委託し実施するため、議会の議決を求めるものである。協定金額は250,440,000円、協定の期間は議決日から令和5年3月31日までである。

なお、本事業の内容については、9月23日の全員協議会においても説明しているが、JR西日本社内において工程を再検討された結果、2月定例会後の協定締結では工期中の完了が難しいと判断されたため、締結の前倒しを行い、11月定例会の最終日に追加議案として提案する予定である。

3. その他伝達事項

○ 市長マニフェストの調書作成について、何のためにヒアリングをするのか分からない。今後、こういったことをやるのであれば、総合調整会議で調整した上でやってもらいたい。（環境経済部）

→当初、説明が不足していたため、先週の総合調整会議で再度説明をさせていただいた。分かりにくい部分もあるかと思うが、基本的な取組みとして、確認や調整をしながら進めていきたい。（政策調整部）

→マニフェストとは、約20年前に当時三重県知事であった北川正恭氏が初めて提唱されたもので、公約の中身と期間と金額を立候補者は出すべきものと認識されている。一方で、一般の人では市の情報がないと作れないため、市はできるだけ詳細の情報を公開するように要請されており、立候補者はそれを勉強し、できるだけ具体的にマニフェストに記載するという考え方だと思う。栢木市長のマニフェストは、短期のものから長期のものまで色んな要素が入っており、調書をどこが作るのか分からないという不満や意見は聞いているが、現職でない人が作った以上、限界があることは理解してもらいたい。どの分野でも施策を最も知っているのは現場の職員であるため、一旦割り切って、現在の割振りの中で、書ける範囲内で書いてもらえば良い。作ってもらった提案を基に考えていきたいと考えているが、決してその作業は無駄にはならないと思う。一つのステップとして、ある程度の見通しを立てて見極め、各部局長とも共有していきたいと考えているので、理解をして欲しい。（副市長）

○ 先日の全員協議会でも発言したが、部長会議のあり方について考えるよう政策調整部に指示している。部長会議は決定機関なのかという疑問があり、見直しをしてもらっているので、承知しておいて欲しい。（副市長）

- 議会への答弁については、引き続き丁寧に対応願う。(市長)
- 職員対応に関する意見について、仰ることはもっともであり、丁寧に対応するよう気を付けている。しかし、できないことはできないとはっきり説明すべき場面もあり、自分の思い通りにならないときに、市の対応が悪いと言われるケースもあるので、ご理解をいただきたい。(健康福祉部)
- 全てがそうでないことは理解している。ただし、ご指摘があるのは良いことではないので、心がけを持ってやってもらいたい。
- カウンターに來られたときの最初の対応で、誰も反応がないことを仰っていたのではないか。このことについては従前から言われており、その改善を最優先にすべきではないかと考える。

4. 次回部長会議の予定

11月30日(月)9時00分～ 庁議室 (案件なしのため中止)

5. 閉会
